

平成21年度「専修学校・高等学校連携等職業教育推進プラン」成果報告書

事業名	産業界等と連携した職業体験講座を活用した職業意識啓発・キャリア教育の推進		
法人名	学校法人 沖縄中央学園		
学校名	専門学校 沖縄中央学園		
代表者	理事長 新垣 紀子	担当者 連絡先	新垣 安仁 098-933-9201
1. 事業の概要等			
<p>高校生を対象に複数の職業・職種を体験させ（講座に関しては県内の専修学校及び大学、企業等）、その体験の比較を基に進路決定してもらうシステムを構築する。また、情報格差や地域格差がある離島に関しては本島とは別プログラムを組み（職業体験&キャリア教育）、「ウチナーしごと村」を開催する。さらに、日々、高校生と過ごす高等学校教師向けにキャリア教育の指導書（マニュアル、ツール）の作成、指導上のポイント等の研修を実施する。最終的にトータルの職業啓発の仕組み作りを目的とする。</p>			
2. 事業の実施に関する項目			
①職業体験講座の実施			
<p>●職業体験講座については、企業を中心に現場の声や体験をメインに進めた。内容等は企業や協力校に一任し、事務局は職業体験講座のスムーズな進行をするように心がけた。</p> <p>興南高校 8分野 245名 伊良部高校・伊良部中学・佐良浜中学 11分野 460名 八重山農林高校 16分野 470名 南風原高校1学年 12分野 341名 南風原高校3学年 16分野 325名 宮古総合実業高校 18分野 165名 八重山商工高校 19分野 320名 宮古高校 16分野 300名</p> <p>●指導者養成講習に関しては受講した先生の多くが「キャリア」について学ぶ機会を得て良かったと回答。また、色々な悩み等も専門家によるアドバイスにより、実際に学校に戻ってからの業務にも役立つと答えていた。</p> <p>宮古会場 9名 八重山会場 2名 南部会場 11名 中部会場 3名 北部会場 1名</p>			

②その他

3. 事業の成果・評価に関する項目

①目的・重点事項の達成状況・評価について

今回は職業選択のミスマッチを防ぐために必ず2分野の職業体験を受講することによって、イメージのギャップによる進路選択ミスを防ぐのに大いに役立ったといえる。また、事前にアンケートを取る事により、高校の先生にとっても進路指導しやすい環境を作ったといえる。そして、企業を中心に実施することにより、学校側が提供する職業体験講座より現実的な話や体験が出来たと思う。それと、指導者養成講習に関しては、高校の教諭が「キャリア」についてのことが分かった回答したアンケートが多かった。

②次年度以降における課題・展開

指導者養成講習に関しては、高校の教員の意識を一致させるために学校全体で研修を実施して欲しいとの声が多く、次年度に関してはカリキュラムを再構成して、教員研修プログラムを作っていきたいと思う。また、職業体験講座に関しては、早めに調整して、ずっと続けてほしいという声が多いため、次年度に向けて日程等の調整中である。